

第24回文化財の保存及び修復に関する国際研究集会：文化財保護法50年記念国際シンポジウム  
「文化の多様性と文化遺産」

(The 24th International Symposium on the Conservation and Restoration of Cultural Property-Cultural Diversity and Heritage-)

1994（平成6）年の「文化遺産の真正性に関する国際会議」以降、「多様性」が世界の遺産保護の指針となった感がある一方、文化遺産に関する価値の多様性を標榜した身勝手な解釈や破壊、グローバル化の急速な進行による地域固有の文化の破壊が起こってきた。そこで、文化と文化遺産の「多様性」の真の意味を見直すとともに、そのことを世界に発信することを目的にテーマが設定された。日本の文化財保護法は世界に先駆けて制定当時から「無形文化財」の概念を持つなど、「多様性」を有していたことも、このテーマの設定にかかわっている。また、「文化の多様性と文化遺産に関する東京宣言」が採択された。

日程：2000（平成12）年12月18～21日

会場：東京国立博物館

12月18日

	発表者	演題
1	Senake Bandaranayake（スリランカ大使）	〔基調講演〕文化の多様性と文化遺産（Cultural Diversity and Heritage）
2	石井米雄（神田外語大学）	〔基調講演〕民族のアイデンティティとしての文化遺産（Heritage as Symbol of Ethnic Identity）

12月19日

第1セッション：多様な文化と文化遺産（Exploration of Cultural Diversity and Diverse Heritage）

	発表者	演題
1	Augusto Villalon（ユネスコ）	フィリピン山脈とバタネス群島の棚田：困難に直面している伝統（Tradition under Pressure at the Rice Terraces of the Philippine Cordilleras and the Batanes Archipelago）
2	本中眞（文化庁）	名勝：文学・芸術と景観（Places of Scenic Beauty: Literature, Art and Landscape）
3	Sylvie Guichard-Anguis（ソルボンヌ大学）	日本の木の小箱から世界の文化の多様性の概念まで（From the Opening of a Japanese Small Wooden Box to the Notion of Diversity of Heritage in the World）

4	Doudou Diene (ユネスコ)	文化の多様性の意味 (The Significance of Diversity)
第2セッション：多様性への理解、尊重、共有 (Understanding, Respecting and Sharing)		
1	笹村二郎 (北海道ウタリ協会理事長)	アイヌ文化の復興と継承 (Revival and Transmission of Ainu Culture)
2	Gaye Sculthorpe (オーストラリア・ヴィクトリア博物館)	オーストラリアのアボリジニーと非アボリジニーの「場所の価値」の融和 (Reconciling Aboriginal and Non-Aboriginal Values of Place in Austraria)
3	Omark Apang (インド)	多民族国家インドの文化と文化遺産 (Culture and Heritage of India, a Multi Ethnic Society)
4	Azedine Beschouch (前ユネスコ)	多様な信仰と文化遺産 (Diverse Faiths and Heritage)

12月20日

第3セッション：多様性を脅かすもの、または豊かにするもの (Threatening of Enriching Cultural Diversity)

	発表者	演題
1	Lazar Sumanov (イコモス)	文化の多様性への橋となる文化遺産、マケドニアの場合 (Cultural Heritage as a Bridge for Cultural Diversity)
2	石森秀三 (国立民族学博物館)	文化遺産と観光開発 (Cultural Heritage and Tourism Development)
3	Bruno Pedretti (トリノ工科大学)	現代性と伝統の危機 (Modernity and Crisis of Tradition)
4	Mhchael Jansen (アーヘン工科大学)	グローバリゼーションと文化的景観の変化 (Globalization and Changes in Cultural Landscape)
第4セッション：文化遺産の保護と継承 (Protection and Succession of Heritage)		
1	Mari Voi (ユネスコ)	有形無形遺産の維持と継承を守る手段、方法、そして技術：土地の独自性—キアカロの場合 (Tools, Materials and Skills to Ensure Maintenance and Succession of Tangible and Intangible Heritage)

2	Said Zulficar (NGO「国境なき遺産」)	国境なき遺産 (Heritage without Borders)
3	大島暁雄 (文化庁)	文化の多様性の継承—民俗文化財の試み— (Folk Cultural Properties in Japan)
4	Herb Stovel (イクロム)	遺産保存の多様性と世界基準 (Diversity in Conservation and Global Standard)

12月21日

総合討議 (General Discussion) : 文化遺産の多様性保持のための行動計画 (Action Plan for sustaining Diversity of Heritage)